年間行事予定音声用原稿

2024年4月から2025年3月までの、名古屋市ほうさ文庫、名古屋市秀吉清正記念館、名古屋市博物館（長期休館中）の年間スケジュール

2024年4月から2025年3月までの、名古屋市ほうさ文庫の事業案内

ほうさ文庫は特別整理・年末年始休館のため、令和6年12月16日（月曜日）から令和7年1月3日（金曜日）まで休館します。

企画展　ひと・ひと・ヒト 浮世絵のひとと顔

令和6年4月13日（土曜日）から6月2日（日曜日）

浮世絵の歴史の中で中心的ジャンルを占めていたのは美人画と役者絵でした。人間がふうぶつにまさる最大の関心事だったのです。誰を描くか、どう描くかなど、浮世絵の人物表現の諸相を紹介します。

企画展 ハマる！工芸

令和6年6月8日（土曜日）から7月21日（日曜日）

しっこうひんや金工ひん、焼物などの工芸ひんには、巧みな素材の組み合わせや卓越した技術が隠されています。「ハマる」をキーワードに、工芸ひんの様々な姿や秘密に迫り、その魅力にハマってみてください。

夏季特別展　もののふの備え　１．馬とともに

令和6年7月27日（土曜日）から9月16日（月曜日・祝日）

武士とともに生きた馬の魅力を、多様な作品を通して紹介します。

夏季特別展、もののふの備え　２．甲冑の美学

令和6年7月27日（土曜日）から9月16日（月曜日・祝日）

甲冑の歴史と美しさを紹介します。

秋季特別展、みやびの世界　１．宮廷文化のはな

令和6年9月22日（日曜日）から11月4日（月曜日・ふりきゅう）

宮廷で、はな開き、長らく伝えられてきたみやびの文化を紹介します。

秋季特別展　みやびの世界　２．魅惑の源氏物語

令和6年9月22日（日曜日）から11月4日（月曜日・ふりきゅう）

紫式部がしるした『源氏物語』の文化史を紹介し、その魅力を紐ときます。

企画展 とんがり美術 －キワだつ個性－

令和6年11月9日（土曜日）から12月15日（日曜日）

独特の雰囲気や印象を発し、他とは一線を画する、個性豊かな作品たち。本展では、そんな個性豊かな作品たちを「とんがり美術」と総称し、それらが誕生した背景を追いかけます。

企画展 めでたきかなお正月

令和7年1月4日（土曜日）から1月26日（日曜日）

門松を立て、鏡餅を供え、年の初めを祝うお正月は、現在に至るまで日本人の年中行事のなかで最も大切にされた営みです。日本のお正月のさまざまな「めでたい」アイテムや、その由来を紹介しながら年の初めをことほぎます。

企画展 江戸絵画に新風が吹く

令和7年2月1日（土曜日）から4月2日（水曜日）

ほんぞうがくの進歩や文学・芸術における復古思潮などを背景に、江戸時代後半は絵画史にも新たな変化が見られます。名古屋地域でも顕著な新潮流となった「長崎派」「なんが」「復古やまと絵派」の作品を紹介します。

利用案内

郵便番号 4 6 1 0 0 2 3

名古屋市　東区徳川町１００１

電話　０５２９５３２１７３

ファクシミリ　０５２９５３２１７４

開館時間は午前10時から午後5時まで。ただし入室は午後4時30分まで

休館日は月曜日。ただし祝日の場合は、直後の平日。特別整理・年末年始休館。

観覧料は徳川美術館と共通で、一般1600円、高校生・大学生は800円、小学生・中学生は500円。

交通　名古屋駅から、市バス基幹バス2号系統・名鉄バス「さかえ経由」で「徳川園新出来」下車、徒歩3分。名古屋観光ルートバス　メーグルで「徳川園・徳川美術館・ほうさ文庫」下車すぐ。JR中央線「大曽根」下車、南出口より徒歩10分。

2024年4月から2025年3月までの、名古屋市秀よし清正記念館の事業案内。

秀よし清正記念館は、館内点検のため、令和6年11月28日（木曜日）から12月8日（日曜日）まで休館します。また、年末年始のため、12月29日（日曜日）から令和6年1月3日（金曜日）まで休館します。

パネル展 尾張に残る 秀よしと清正の足跡

令和6年5月19日（日曜日）まで

豊臣秀よしと加藤清正は主に西日本で活躍しましたが、生まれ故郷の尾張にも活動の跡や伝承などが多く残っています。ゆかりの場所を写真で紹介します。

特集展示 記念館所蔵の武具類

令和6年6月1日（土曜日）から6月30日（日曜日）まで

秀よし清正記念館の前身であるほうせい二公顕彰館時代から受ぞうするなどして保管している、甲冑や刀剣、 馬具など新旧さまざまな品を展示します。

パネル展 藤吉郎から秀よしへ

令和6年7月20日（土曜日）から9月23日（月曜日・祝日）まで

ふるさと中村を出て織田信長に仕える前まで住んだ浜松時代から、羽柴秀よしとなる近江あざい攻めごろまでの流れを伝説も交えてふりかえります。

特別陳列 重要文化財　豊臣家もんじょ

令和6年10月12日（土曜日）から11月17日(日曜日）まで

秀よしの妻こうだい院(おね)の兄、木下家定の子孫に伝来した、秀よしが関白に登りつめるまでの足跡を示す貴重もんじょを、生まれ故郷の中村で公開します。

パネル展 城の構造

令和6年12月14日（土曜日）から令和7年2月16日（日曜日）まで

尾張藩士がしるした詳細な図入り築城マニュアル『城取図解』(ほうさ文庫ぞう)を交えながら、城郭施設の多様な姿を各地の城の実例で紹介します。

パネル展 清正伝説と信仰

令和7年3月8日（土曜日）から5月6日（火曜日・ふりきゅう）

秀よし配下の武将で肥後国(熊本県)の領主にもなった加藤清正。史実と伝説とが織りなして 今に受け継がれている清正への思いを紹介します。

利用案内

郵便番号4 5 3 0 0 5 3

名古屋市なかむら区中村町茶ノ木25　中村公園文化プラザ2階

電話　０５２４１１００３５

ファクシミリ　０５２４１１９９８７

開館時間は午前9時30分から午後5時まで

休館日は毎週月曜日。ただし祝日の場合は、直後の平日。第4火曜日。ただし祝日を除く。館内点検休館、年末年始休館。

観覧料は無料

交通は地下鉄東山線「中村公園」下車、3番出口を北へ徒歩10分。市バスの場合は、名古屋駅から「めい駅25系統　中村巡回」で「豊国神社」下車、徒歩2分。

2024年4月から2025年3月までの、名古屋市博物館（長期休館ちゅう）の事業案内

名古屋市博物館は昭和52年（1977年）に開館した歴史系の総合博物館です。 ただいまリニューアル工事のため、長期休館中です。令和8年（2026年）に再オープンします。

休館ちゅうでも行われている事業について案内します。

はくぶつかん講座

学芸員が講師をつとめる講座です。最新の研究成果や、ちょっとユニークな話題などをお話ししています。今年度はかんがいのいろいろな社会教育施設等に場を移して、連携事業としての出前講座を企画しています。各回の期日・会場・演題・応募方法などは順次、公式サイトに掲載します。原則として聴講無料ですが、 会場によって観覧料などが必要となる場合があります。

歴史体験キット「組紐づくり」

千年以上の歴史を持つ伝統工芸ひん「（くみひも）」 を作ってみませんか。丸台と、糸がセットされた組玉が入っており、ご家庭ですぐ始められるキットです。 初心者向けの「はじめての組紐」のプログラムと、完成した組紐で飾りを作る「組紐で飾り結びづくり」のプログラム、２種どちらでも体験できます。

申し込み：令和6年７月 1 日（月曜日）から開始

貸出期間：２週間、

貸出料金：500 円（税込） 利用手続き・申し込みは公式サイトから

なごやのうつりかわり　（会場：名古屋市美術館）

小学校３年生の社会科単元に対応した事業です。「電化前の暮らし」「電化後の暮らし」を通じて、暮らしのうつりかわりを体験できます。今年度は会場を名古屋市美術館（中区さかえ 2 -17-25、白川公園内）へ移して実施します。

一般の方は、令和7 年１月 18 日（土曜日）から ３ 月 23 日（日曜日）の 土曜日と日曜日、お よ び、 ２月 11 日（火曜日・祝日）、24 日（月曜日・ふりきゅう）、 ３月 20 日（木曜日・祝日）にご利用いただけます。

利用案内

郵便番号4 6 7 0 8 0 6

名古屋市瑞穂区みずほ通り一丁目27の1

電話０５２８５３２６５５（土曜日・日曜日・祝日・年末年始を除く）

ファクシミリ　０５２８５３３６３６

博物館の公式サイトに新コンテンツが登場しました！

「催し物・イベント」ページでは、休館中の活動の様子がご覧いただけます。

「博物館の自己紹介・博物館の魅力向上」ページでは、リニューアル計画の内容がご覧いただけます。

「こども博物館」ページでは、博物館の仕事や働いている人の紹介に加え、学芸員がどのような仕事をしているのか、クイズなどで楽しく学ぶことができます。

収蔵品データベース

博物館が所蔵する資料を webで検索できます。どんどん画像・情報を充実していきますので、調査や学習に活用してください。画像の利用条件については公式サイトでご確認ください。

よみがえれ文化財

博物館・分館が所蔵する資料を修復・活用するために広く寄附を募っています。これまでに美術品や古文書の修復、出土遺物の保存処理、写真資料のデジタル化などをおこなってきました。ふるさと納税制度を利用した寄附です。方法については博物館公式サイトをご覧になるか、お電話でお問い合わせください。